

■ 機関紹介 ■

会社沿革

(株)近畿エコサイエンスは、琵琶湖の高台に位置し近くには茶臼山公園があり、遠くには比良山系を望む風光明媚な環境にある。

当社は、(財)近畿健康管理センターのグループ会社として、平成13年(2001年)4月に設立された。(財)近畿健康管理センターで永年培ってきた実績とノウハウをベースに、職場環境改善、生活環境の保全、健康づくりなどの事業を総合的に展開している。

平成13年4月 作業環境測定機関登録

平成13年4月 計量証明事業登録

平成14年10月

ISO 14001 認証取得

平成15年1月 土壤汚染対策法指定調査機関

経営理念

「人にやさしい環境づくり、健康づくりに貢献する企業を目指す。」を経営理念の柱として、高品質な技術、製品、サービスの提供によって、お客様や社会に貢献することを目的とする。

事業内容

安衛法65条に基づく作業環境測定(粉じん、特化物、金属類、有機溶剤、騒音、事務所など)以外に局所排気装置の定期検査、測定および検査結果に基づく評価、改善指導、生物学的モニタリング(特殊健康診断の生体試料の検査)、個人ばく露モニタリング、計量証明(水質、大気、騒音、振動など)、労働衛生の教育、指導など総合的な環境・健康づくりの支援機関として広範な業務を行っている。

作業環境測定実施状況

平成16年度の作業環境測定の実施状況は、2222延単位作業場所であり、その内訳は粉じん27%、特化物6%、金属類3%、有機溶剤48%、騒音16%であり、ほかに局所排気装置の定期検査、個人ばく露濃度測定を行っている。

なお、例年全売上の約55%を作業環境測定で占めている。

今後の課題

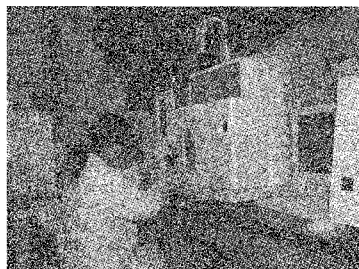
現在発生している有害物質による職業性疾病の多くが、作業環境測定の対象とならない不定期作業などで発生している。

また、作業環境測定結果が良好な作業場であるにもかかわらず職業性疾病が発生する事例がある。

これらの職業性疾病を予防するための測定は作業環境測定のみでは不十分な場合もあり、個人ばく露モニタリング、生物学的モニタリング(尿中代謝物等の測定)で補完することが必要と思われる。

また、騒音等の物理的因子に対する作業環境管理は立ち遅れが目立ち、今後の重要な課題である。

このような背景のもと、より良い環境づくり、健康づくりに今後とも寄与していきたい。



株式会社 近畿エコサイエンス